

# ひと まち 常に市民と地域を考える

今後の課題 = 将来への目標



## 人口減少対策

- 経済格差と教育を切り離し、公平な教育を目指します
- 少子化対策を強化し、次代を担う人材を育成します
  - ・ 妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援を強化
  - ・ 子育て世代に魅力あるまちづくりを推進
  - ・ 時代に対応した教育環境の整備と教育支援の継続
  - ・ 幼児教育・初等教育の質を高め、授業外の学習支援システムを導入
- 移住希望者への情報発信を強化し、受け入れ態勢を整えます
- 若者定住促進補助金(住宅補助事業)を継続します
  - ・ これまで1184人(大人680人、小人504人)がこの制度を利用
- 都市機能の集約を図ります
  - 例：修善寺駅を中心に、にぎわいと回遊性のある拠点づくり  
牧之郷駅を活用し、住宅地の開発を促進

## 安心安全なインフラ整備

- 安全で心地よい生活環境整備を進めます
  - ・ 人口流出を抑制し、移住政策の強化
  - ・ 中伊豆温泉病院の市内移転を着実に支援
  - ・ 伊豆赤十字病院の救急受け入れ維持に支援を継続
  - ・ 市内病院と診療所の連携を強化して市民の健康支援
  - ・ 高齢者・障がい者・外国人も生きがいをもって暮らせるまちづくり
- 市民の安全安心につながるインフラを整備します
  - 例：市道矢熊筏場線を改良して、救急車の通行を可能にする 他
- 防災・環境・観光のバランスが取れたまちづくりを推進します
  - 例：御幸橋の架け替えを完了し、大型バスが安全に通過可能にするなど、産業振興に寄与するインフラを整備

## 産業力の強化

- 観光業・商工業・農林業など産業力を強化し、雇用環境の改善に努めます
  - ・ インバウンドなど新たな観光需要の掘り起こし
  - ・ 市内企業の競争力と経営基盤強化を支援
  - ・ 市内企業の事業継承を確実にするため、事業用地と従業員確保を支援
  - ・ 伊豆縦貫自動車道路を活用し、新たな企業誘致を推進
  - ・ 空き公共施設等の有効活用を推進
  - ・ 森林整備を進め、林業の振興を図る

## 魅力ある“まち”づくり

- 地域の振興に役立つ魅力あふれる拠点づくりを進めます
  - ・ 伊豆市の特色を活かしたブランド力の向上
  - ・ 東京2020大会をチャンスとして、国内外からの誘客促進
  - ・ 伊豆市の魅力を発信するシティ・プロモーションを強化
  - ・ 「海と共に生きる」「文学の郷」「わさびの郷」など、歴史と伝統を大切にしたまちづくり
  - ・ 住民が主役の地域づくり協議会活動を支援
  - ・ 東京2020大会を契機として、国籍・性別・年齢・障がいの有無を超えた多様性を受け入れるまちづくり

## 行政改革と財政健全化

- 行政の改革・合理化をさらに推進し、財政の安定を図ります
  - ・ 老朽化した市有施設の整理統合や職員のスキルアップにより、将来も持続可能な市民への行政サービスを確保
  - ・ 高度成長期に整備した施設の運営について民営化・民間委託を活用し、新たな技術革新を導入
  - ・ 長期財政シミュレーションに基づき、財政の健全度を不断にチェック
  - ・ 税金など歳入増加につながる施策を積極的に展開

## 伊豆市 新型コロナウイルス対策費に2億3千万円!

- ① 緊急融資の利子補給、雇用調整助成金に市が上乗せに。
- ② 当分の間、市内事業者の負担軽減に。
- ③ 緊急に市内消費の拡大に。
- ④ 事態沈静化後、大胆な観光振興策に。



国交省への陳情

## 東京オリンピック・パラリンピック自転車競技 伊豆市開催を成功させよう!

### ごあいさつ

日頃より菊地ゆたか後援会活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。お陰様で菊地市政も12年を迎え、皆様方のご支援・ご意見を頂きながら、伊豆市を元気にするために一生懸命に頑張っておりました。今後も、地域の発展と市民の幸せを想う彼の情熱は衰えることはこれからもないと思います。

皆様ご承知の通り、今年は東京オリンピック・パラリンピックの自転車競技が伊豆市で開催されますが、現在新型コロナウイルスの感染拡大により世界中が大変な状況下にありますが、早く鎮静化して無事に開催されることを祈るばかりです。

最後に、皆様方のご健勝をご祈念申し上げるとともに、菊地ゆたか後援会により一層のご支援をお願い申し上げます。挨拶とします。

菊地ゆたか後援会 会長 遠藤正寿